

令和4年度第3回福島県原子力発電所安全確保技術検討会 開催結果

1 日 時

令和4年7月15日（金）13時30分～15時30分

2 開催場所

北庁舎2階 プレスルーム（Web会議）

3 出席者

別紙出席者名簿のとおり。

4 議 事

ALPS 処理水希釈放出設備等の新設計画に関する当検討会による確認結果について

5 結 果

計画に関する確認結果をまとめた「東京電力福島第一原子力発電所 ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設の新設に関する確認結果報告書（案）」を事務局から構成員等に説明し、意見を伺った。

構成員等から提出された意見、質問を別紙に示す。

いただいた意見、質問は、現在取りまとめている報告書に反映する。また、東京電力ホールディングス株式会社に追加の回答を求める。

5 その他

今回の会議資料が事務局による検討段階の報告書（案）であり、その内容は事業者の東京電力に伏せておく必要があるため非公開での開催とした。

以上

【大越委員】

- ・ 報告書のクレジットが技術検討会となっている。技術検討会のみでよいのか。モニタリング評価部会をいれるべきではないか。
- ・ P27、2つめの矢羽根では「堰の容量が十分であること」と記載されている。一方、P76、主な意見の2つめの矢羽根では「タンク堰内には全てのタンク水を貯留できない」と記載されている。矛盾しているのではないか。
- ・ P32、「30 基全タンクから漏えいした場合でも公衆への放射線影響が軽微であることを確認した」と記載されている。一方、P76、「タンクから漏えいした場合の気中被ばくが過小評価である」と記載されている。矛盾しているのではないか。
- ・ 東京電力の回答を確認し、安全上は問題ないと判断したが、さらなる安全確保のため、要求事項を挙げたことが分かる文章を追加してはどうか。
- ・ 会議に出席している関係者は分かるが、P19「試薬」がいきなり出てくると一般人は分からない。注釈が必要ではないか。
- ・ P12、確認結果の矢羽根1つ目は「トリチウム以外の放射性物質については、規制基準未満に浄化できることを確認した」のほうがわかりやすい。

【柴崎委員】

- ・ 海洋放出の必要性について説明が必要ではないか。
- ・ P16にある放出シミュレーションのグラフが理解しにくい。
- ・ タンクの貯水量が2050年頃にゼロになる計画だが、放出量はなるべく少ない方がよい。半分ぐらい放出したら、残りの処理水は地上で保管する等を書くことはできないか。
- ・ 汚染水の発生を抑制する対策について、何かしら報告書に触れる必要はないか。
- ・ 地下水バイパスやサブドレンからのトリチウム放出量を含む福島第一原子力発電所全体のトリチウム放出量をまとめた資料は報告書に載せないのか。
- ・ これまでの検討会で出された委員の意見に対する回答が不十分なものが残っていると思う。

【兼本委員】

- ・ P78の分かりやすい情報発信に関して、本件の場合、希釈放出設備の機器トラブルが発生し、海に十分に希釈されていないALPS処理水が流出した場合、海への影響を確認するまでには時間がかかる。現状の安全確保協定の枠組みで、通報を受けた後の情報発信が適切に行われるのかを事前に確認しておくべき。
- ・ P79の分かりやすい情報発信について、もう一步踏み込んだ表現で要求事項に記載していただきたい。

【田中委員】

- ・ P60、矢羽根3つ目。海域モニタリングの異常値を放出1年前から実施するモニタリング結果を基に設定するとあるが、1年で良いのか。台風が来るときもあるし、今年のように梅雨が早く明けてしまう年のデータだけではなく、過去のデータを使うことを検討する必要がある。

【百瀬委員】

- ・ P27、P45に関連して、放出設備のトラブルが発生した際のトラブルのグレート分けを前もって実施しておく必要がある。前もってしておけば、トラブル情報の公表時に、余計な不安や風評を抑制できる。

【藤城委員】

- ・ 技術検討会の確認事項と東京電力の回答を受けて、技術検討会が最終的にどのように評価したのか、また、評価結果を基に、要求事項にどう反映したのかが分かるようにして欲しい。

【田上委員】

- ・ 線量評価結果としては納得しているが、一部納得していない点もある。報告書には、最終的に技術検討会の意見がどのように反映されたかを付すことが重要ではないか。

【高坂原子力対策監】

- ・ 今までの廃炉協や技術検討会で委員から出た意見について、対応が完了していない点を整理する必要がある。
- ・ P15に関連して、日々発生する処理水を減らすため、新たな汚染水発生を抑制するための対策を求めることを報告書に書いて欲しい。
- ・ P10の図に関連して、表に採取箇所や測定機器などを追加して欲しい。例えば、「⑥希釈後の処理水」について、リアルタイムで監視する場所を具体的に書くこと。

【双葉町】

- ・ そもそも、なぜ海洋放出が必要なのか理解が進んでいない。海洋放出の理解醸成を要求事項に書いてもらえないか。

【河井委員】

- ・ P55の「体系的な教育訓練アプローチ」は「SAT」と記載して欲しい。